

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和元年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ①グリーン分野 (5/6)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
柏の葉キャンパス「公民学連携による自律した都市経営」特区 (千葉県柏市)	3.8	4.6 <u>進捗度</u> ・各主体の参画による活動の活性化 122% ・新ビジネス創造と地域経済の活性化 102% ・AEMSを活用した環境配慮型都市の確立 250% ・先進的・包括的健康・介護サービス体制の構築 77% ・虚弱予防活動の展開 111%	3.5 <u>規制の特例等</u> ・訪問リハビリテーション事業所整備推進事業 ・歯科衛生士等居宅療養管理指導推進事業等 <u>地域独自の取組</u> ・訪問リハビリテーション事業所及び介護予防訪問リハビリテーション事業所整備推進事業に係る医師の配置要件の緩和等	3.5	・評価指標の数値目標の多くが達成されており、「公民学連携による自律した都市づくり」のモデルとして着実に進捗している。 ・「都市経営」、「地域エネルギー」、「地域の健康・福祉」の3軸それぞれの評価指標の対象となる主体は異なると考えられるが、例えば新ビジネス創造とエネルギー、まちのプロジェクトとエネルギー、エネルギーとウェルネスなど、軸間で連携するような取組の視点をさらに進めることで、都市経営の高度化に活かす、具体的なデータ活用の実践に期待。 ・グリーンイノベーションに関しては、エネルギー管理の詳細な実態がわからない上、既存のシステムによる特段の追加的取組のないままに成果の数値だけが報告されている。 ・UDCK(柏の葉アーバンデザインセンター)を中核とするまちづくりプロジェクトや、ベンチャー企業の支援、フレイル予防等、目標を上回る水準で成果を上げているが、トータルケアシステム、地域エネルギーのディマンド制御等のロードマップとそれについての評価指標の検討を期待。 ・数値目標(4)－②の実績値が減少している理由として事業所の撤退が挙げられているが、その理由についてより具体的に要因分析を行う必要があるのではないか